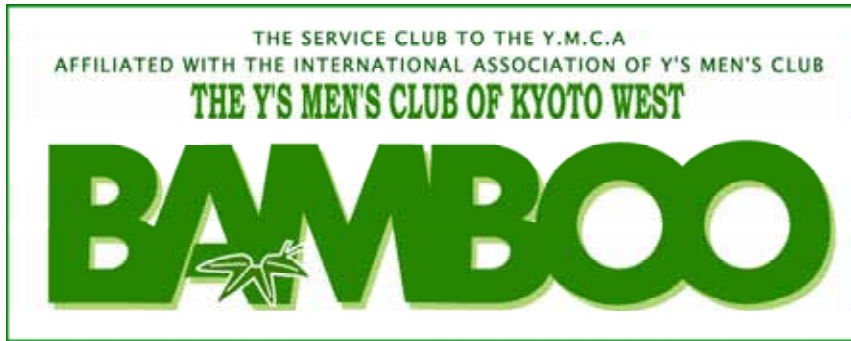




CLUB OFFICE
京都 YMCA 国際専門学校
〒602-0033
上京区烏丸今出川下ル
TEL (075) 432-3191
FAX (075) 432-9440



3

No.325

2007年3月号

「強い義務感を持とう！義務は全ての権利に伴う」

標 語

国際会長	"Active Participation with Love" 「愛をもって 積極参加」
アジア会長	"Partipation and Inspiration" 「参画、そして感動を！」
西日本区理事	"One for all, all for one" 「一人はみんなのために、みんなはひとりのために」
京都部部长	「百花繚乱 - 京都部 - 」

西日本区強化月間

E F . J W F

今月の聖句

「はっきり言っておく。子供のように神の国を受け入れる人でなければ、決してそこに入ることはできない。」

マルコによる福音書第10章15節

ク ラ ブ
会長標語

Heart Sharing

会 長 河合久美子
副会長 桂 厚子 岩本 敬子
書 記 牧野万里子 星野 淑子
会 計 大西 光子 金澤 典子

『環境雑感』

環境委員長 藤居一彦



いつも CO2TAX 並びに環境家計簿にご協力ありがとうございます。

私自身は今まで環境委員会に所属した事が無く、環境委員長を仰せつかり、前期の環境委員長がとてもしっかり運営されていたので、教えてもらいながらやれば何とかなるだろうとの思いでお受けして、早くも半年が過ぎました。

始まりは CO2TAX からで、自家用車で私用走行距離に課金するという、とてもユニークなアイデアでスタートし現在もメンバーのデータ収集に努めております。

でも次は、このデータの環境への有効活用方とかを考えていく段階かなと思いますし、もっと他にいいアイデアを模索したりしております。

CO2TAX や環境家計簿で環境への取り組みの意識が高まり、色々なご講演も頂きましたし、西日本区や京都部に環境委員会が無くても環境主査を輩出した事もあり、環境のウエストと呼ばれる様になりました。

私は冬のスキーが好きですが、今年は本当にビックリする位の暖冬で、各地のスキー場に雪が大変少ない状況で、クロー

ズしているスキー場も有りますし、以前に何かの本で将来は標高 2000 m 以下の山ではスキーが出来なくなる？というのを目にした事が有ります。

こんな身近な所からも、これからの地球環境の問題は、それこそ第一課題で人種等の関係なくして地球規模で考えていかなければならない問題だと思います。

でも新聞やメディアで環境についての色々な問題を目にしますと、やはり先進国や発展途上国で足並みが揃わないなあ・・・とも感じます。

人間は誰でも少しでもいい暮らしがしたい気持ちも分りますが、これからの地球にとって本当に大事な問題です。

でも、いざ自分に何が出来るとなれば中々難しいですね。環境委員会のメンバーには、大先輩の高野ワイスが在籍され、自らのお仕事である竹を通じて、地球温暖化や山を守るというような、色々な面で環境に取り組んでおられます。

3月の第一例会は環境例会という事で、高野ワイスに環境についてご講演を頂きますので、どんな話を聞かせて頂けるのか興味津々で、もっと環境に対する意識が自分自身高まれば良いなと思っています。

データ集め等の地道な作業ですが、中々返信の様子が思わしくないなので、メンバーの皆さんお忙しいと思いますがご協力をお願いします。

2月在籍者		例会出席率		BFポイント		ニコニコ		ファンド	
会員	第一例会	第二例会		切手	0pt	第一例会	ネットファンド		
26名	メン	15名	19名	現金	0pt	0円	0円		
広義・功労会員	メネット	4名	4名 (メイキャップ含む)			第二例会			
0名	コメット	0名	0名			12,000円			
	ビジター	0名	0名	前月出席率	累計			ファンド	
	ゲスト	0名	1名	修正	切手	0pt	年間合計		
合計	計	19名	24名	なし	現金	0pt	累計120,400円		

出席第一・時間厳守・環境問題についての意識改革、行動・親睦・奉仕

2月第1例会(TOF例会)
2007年2月8日(木)今出川YMCA
地域奉仕委員長 中村 豊

地域奉仕事業委員会が担うべき2月 TOF 例会を迎えるのにいろいろ考えたところ、去年11月に初めて参加した西院中学校でのバザー主催者である「みやこ作業所」の方に、その沿革や活動内容を聞かせてもらうのも勉強かと、電話しましたところ、快く了解を頂きました。そもそもは野田夫妻の紹介と働き掛けから始まったことで、バザー出店は、我々ウエストにとっては有難いお話でした。

当日は、副施設長の井出氏、職員の白石氏の2人に来会頂き、食事なしでたっぷりの時間、お話を聞き、質疑の時間も十分に取れた例会でした。

昭和43年「障害者の施設をつくり育てる会」が発足し、依頼行政や議会に支援を働き掛け、約10年が経過した昭和54年、正式な「みやこ作業所」がそれぞれ「間借り」なりにも解説された由です。更に10年経った平成元年、10周年記念行事として作業所祭りやコンサートを開くなどして、広く地域に根ざした知られた団体に成長されました。

最初に「つくり育てる会」を立ち上げるにしても、保護者が任意で仲間を作り、自分達の手で自分達の将来を、のぞみの持てる確かなものにしようと奮闘された苦労が偲ばれ、頭の下がる思いがします。平成12年 NPO 法人の承認を得たものの、対社会的信用を得る為に、今度は同15年、社会福祉法人設立の運びとなりました。このうちは作業所の経営、運営が本物でなければならず、基板がいつそう確かなものになって頂きたいものです。

事業内容では、箱折り、袋詰め、箱詰めなどの起業の下請けが多く、1人1ヶ月あたりの待遇をよくする為、独自の製品開発や、販路の拡充に力を入れて行きたいとの事でした。人的、物的な制約の中、引き続き奮闘してもらいたいものです。

京都部ワイズデー

2007年2月18日(日)京都 YMCA マナーホール
副会長 岩本 敬子

2/18 3PM ~ 6PM 京都 YMCA マナーホールにて開催されました。テーマは国際統一事業である HIV/AIDS。今期の京都部では3度目のワークショップとのことですが、私は初めて参加させて頂きました。

三部構成で、一部は、リーディング。エイズ患者のメッセージ朗読と、読まれた方の感想。すべて、同性愛者メッセージでした。

二部は、第一日赤の大野藍子先生によるエイズの現状報告。

ショックを受けたのは、先進国の中では日本だけが増加傾向にあること。検査に行っていない人も多く、隠れ陽性者もいるといわれている。また、性体験の低年齢化。深刻な問題である。

3部は、8名程のグループに分かれてのワークショップ。「若者の HIV/AIDS の感染を防ぐには」一人ひとりが付箋に書き、リーダーがその意味を掘り下げて詳しく聞きながら、まとめて発表。

私たちのグループでは、健康診断の際にエイズ検査をする。政府がもっとアピールする。

義務教育の間に HIV/AIDS を認識してもらう方法を工夫する。インターネットの規制を考える。

等々。でも最終には、家庭単位が大事で、家族で話し合える場を持つこと。となった。エイズの撲滅は厳しいようです。これからの若者には、予防強化が大事であること。アメリカ社会は、予防は日頃から心がけているが、日本では、欠けている部分と思われる。

そして、忘れてはならないのは、陽性者とのかわり方だろう。聞いたことを広げること、また専門家を養成し、予防を徹底させることだと思いました。

今回の参加者は西日本区理事をはじめ、主任他計70名位だったでしょうか。もっと多くの方に参加して頂きたかったプログラムだったと思います。

河合会長・中村・野田・野田メット・岩本

2月第2例会

2007年2月22日(木)リーガロイヤルホテル
Yサ委員長 吉田 和雄

2月22日リーガロイヤルホテルで2月第2例会(ファンド例会)が行われました。こう書いてみると「2」が五つも・・・

金澤ワイズの司会でスタート、当日のメインのひとつは、メンバースピーチでした。「我社の仕事」と題し立山、島田、市橋ワイズから普段は聞けない貴重な話をしていただきました。偶然にも三名とも三代目ということでしたが、それぞれ仕事に対しての矜持が感じられ、興味深く聞かせていただきました。またの機会に他のメンバーのお話も聞けたらと思われました。

もうひとつのメインは、鈴木けい子特別メネットの入会式でした。これまでのご経験もあり、い



ろいろ助言いただきながらやっていきたいと思えます。よろしく願います。

また、当日は前回の2月第1例会に引き続きCS

募金が行われました。

ことに相応しいチャーターナイトとなったのでした。(2007.3月)

新連載コラム 森田ワイズの

『京都ウエスト温故知新(第二部)』

その式

チャーターナイト成功の因は38の心の絆

京都ウエストの温故知新第一部(その8)に記したように、京都ウエストクラブのチャーターメンバー38名が結束した「苦中味楽でクラブ造りを！」の実践努力は、昭和55年5月5日、緊張と感激のうちに終わったチャーターナイトにおいて見事に報われました。

成功の因は、チャーターメンバー38の心が一つになれたからということであります。

京都パレスへの断ちがたい郷愁をふっ切るためには、ただ未知なるクラブ造りへの行動あるのみ、とエネルギーを燃焼させたキーメンバーと、まだワイズへの理解も十分でないにも拘わらず、ただキーメンバーを深く信頼して、古紙回収から始まったファンド造り、ブリテンの発刊・古切手整理・献血・手作りのクリスマスや長岡京市産業文化会館での月例会の設営など、各委員会の通常活動にまで積極的に力を注ぎこんでくれたフレッシュマンの弛まざる情熱が団結心を培ったのだと思います。

55年5月5日のチャーターナイトに向けて5.5.5(GO.GO.GO)の合言葉で前進していた新生ウエストに一人でも多く、新会員の増上積みを図るため、また、新会員の「ワイズメンズクラブとは？」という素朴な疑問に答える学びの機会をつくる施策として、例会には大先輩ワイズをスピーカーとして招き、また、パレスとウエスト合同特別例会では「YSを語る」をテーマにYMCAとYSの関わり、YSと宗教、YSの国際性、YSの権利と義務について質疑応答の学習も企画しました。

一方、創刊なったブリテンBAMBOOには[For Our West]のコーナーを設けて新会員が入会順に素直な感想を発表しあい、仲間としての思いを確かめ、励まし、地域社会やYMCAへの奉仕を通して培う自己成長への希望を語り合うことで、心の絆を日毎に強め合ったのでした。

そのほかメンバー相互の連帯感、さらに強く言うならば運命共同体感覚をより深く身につけていたいただきたいとの願いをこめて「Skin To Skin握手作戦」を提案し実行に移しました。

意思の伝達にあたって、言葉とか眼で伝えるだけでなく、声にならない心の思いはお互いの手の暖かさ、あるいはその力の強弱によって思いのほか敏感に感じ取れるものだからです。メンバー同士が顔を合わせるすべての機会に、単に挨拶をかわすだけでなく、積極的に手を差し伸べ握ることを習慣づけようとのねらいでした。

かくして、燃え滾る情熱で迎えた京都ウエストの誕生は、ステージの左右に飾られた武者兜と鯉鱈が象徴する端午の節句。その後、水を得た魚の如く素晴らしい躍動をはじめた子供クラブには、ま

IBC交流ニュース

年明け早々の1月7日台北ダウンタウンクラブのIBC委員長である陳信肯(Hsin-Keen Chen)さんご夫妻が来京されました。午後3時半ごろ新阪急ホテルにて面談し、トライアングル交流会計画についての現況と概略を説明しました。

その後東本願寺と駅ビル屋上からの京都市展望に案内し、居酒屋「京都庄や」にて歓迎夕食会を楽しみました。陳さんお二人は翌朝東京へ出発。なお当日は河合・野田・森田・牧野・岩本が参加。

引きつづいて去る2月17・18日台北ダウンタウンクラブの30周年年度の元会長 邱輝雄(A lbert Chiou)さんご夫妻と子供さんら6人が来京。17日の夜は河合・野田夫妻・立山夫妻・森田が出迎えるネッサンスビルのレストランで夕食。

18日には森田・松本が観光案内。円山公園・知恩院・永観堂・銀閣寺・錦市場と廻った後、森田宅にて岩本・松本メネ・中原夫妻も加わって歓迎会。大いに盛り上がった一夜となりました。

(記録=森田)

2月役員会議案報告

議案	内容	結果
議案1	鈴木けい子メネットを「特別メネット」とする件。 会費は暫定的に西日本区会費8,000円 ロースター 1,900円とし 例会会費はメネットと同じにし 今期中に総会をひらいて条文を決定する。	承認
議案2	次期会長・主査研修会の登録費等のクラブ補助について、(登録費+宿泊費)×2名分をクラブ経費(外部研修・活動補助費)から拠出する。	承認
議案3	6/8-12 IBC交流(トライアングルキャンプ)についてのPTを設置し、PT委員長は野田交流委員長、メンバーの選出はPT委員長に一任する。	承認

今月の聖句の解説

by辻中連絡主事

主イエスが「子供を手本として生きなさい」とおっしゃる意味は、「子供の仕方て神の国を受け入れることを見習いなさい」、すなわち「神から渡される贈り物として受け入れる」事なのです。大人は自分の経験などを大事にしますが、神の国に入るのは自分の努力や才覚、思いによるのではなく、「子供のようにただ、神の国を受け入れる人」なのだということです。私たちに主イエスは、「子供のようになって神の国を心から受け取りなさい」とおっしゃいます。神の国は贈り物であり、人間が決定権を行使できない形でやって来るのです。


3月 Schedule

2月26日	(月)	三役会	19:00~	今出川Y MCA
3月1日	(木)	役員会	19:30~	リーガロイ ヤルホテル
3月8日	(木)	第一例会(環 境例会)	19:00~	今出川Y MCA
3月22日	(木)	第二例会(通 常例会、総会)	19:00~	リーガロイ ヤルホテル


4月 予 定 抄

4月2日	(月)	三役会	19:00~	今出川 YMCA
4月5日	(木)	役員会	19:30~	リーガロイ ヤルホテル
4月21~22日	(土日)	一泊例会&次 期役員研修会	未定	リトリート センター
4月22日	(日)	リトセン夜桜 フェスタ	未定	リトリート センター

3月 Happy Birthday

	メン	メネット
	岩本 敬子	中原 優子
	市橋 清太郎	森田 直子
	森田 恵三	
	星野 淑子	

3月 Happy Anniversary

3月 他クラブ例会案内

	第一例会		第二例会	
	日程	場所	日程	場所
パレス	14日	ブライトン	28日	ブライトン
洛中	8日	全日空	22日	全日空
みやび	7日	三条YMCA	21日	セントノーム

YMCA News

1. 2006年度卒業生リーダー祝会のお知らせ

とき 3月11日(日)午後2時~5時30分
会場 京都YMCA 三条本館マナホール

2. 新年度プログラム募集

子供たちのウエルネスプログラムの新年度参加者募集中です。ご参加をお待ちしております。

スイミングスクール・体育活動
グローバルアウトドアクラブ

3. 春休みスキーのお知らせ

春休みのスキープログラムの参加者募集中。

コース名	対 象	日 程	行 き 先
リトルキッズ	小学1~2年生	3月26日朝~30日朝	志賀高原
小学生	小学3~6年生	3月26日朝~30日朝	志賀高原
中高生	中学1~高校3年生	3月25日夜~31日朝	野沢温泉
チャレンジス	小学4年~高校3年生	3月25日夜~31日朝	野沢温泉

チャレンジスキーは中・上級者向き

4. 春休み小豆島少年少女キャンプ参加者募集中

カヌー・ヨット・釣りなどのマリンスポーツと磯遊び、島内めぐりなど瀬戸内海の余島での楽しいキャンプです。

場所 神戸YMCA余島キャンプ場

日程 3月29日~4月2日泊5日 対象 小学2年生~高校3年生 費用 54,000円

5. 春休みスイミングスクール、鉄棒・とび箱が好きになる教室のご案内

春休みのスイミングスクール、鉄棒・とび箱が好きになる教室参加者募集中です。

春休みスイミングスクール

期間 3月25日(日)~30日(金) 連続6日間

対象 新年中・新年長・新小学~中学生

場所 京都YMCAウエルネスセンター三条 室内プール

費用 8,000円

鉄棒・とび箱が好きになる教室

対象 ABクラス 新小学1年生~6年生 CDクラス 新幼児年中~小学3年生

日時 3月25日(日)~29日(木) 連続5日間

場所 京都YMCA今出川センター体育館(上京区烏丸今出川下ル西入ル)

費用 10,000円

デイキャンプ 日帰り連続4日間

幼児フレンドシップ 期間 3月26日(月)~29日(木)

対象 新年中・年長

費用 28,000円(小学生フレンドシップ 期間 3月26日(月)~29日(木)

対象 新小学1年~3年生

費用 28,000円

6. 京都YMCA軽度発達障害児理解セミナー

2007年度より教育現場で特別支援教育が本格的にスタートします。市民の方々が理解を深め、軽度発達障害児が健やかに成長できる社会作り貢献できればお願いセミナーを開催いたします。幅広い方々のご参加をお待ちしております。

日 時: 2007年3月3日(土)午後1時~午後3時

場 所: 京都YMCA三条本館 マナホール

講 師: 小谷裕実 大阪教育大学助教授、小児科医

7. リトリートセンター夏期利用案内

夏期(7・8月)の受付を下記日程で行います。

30名以上3/14日午前10時~、30名未満3/22日午前10時~

お問い合わせ(詳しい内容)・お申し込みは

電話(075)231-4388

電話(075)255-4709

編集後記 プリテン委員長 立山 隆一

地球温暖化が原因で今年の冬は例年に比べて寒くもなく、雪もなく春を迎える事になりそうです。このまま毎年このような冬を迎えるのでしょうか。3月環境例会が開催されます。もう一度環境について考えてみましょう。

2007年1月号より当クラブのプリテン(紙面版)はグリーン商品リスト掲載品・FSC承認パルプを使用しています。

また製本は(社)京都手をつなぐ育成会 山科共同作業所(知的障害者自立支援センター)に委託しています。